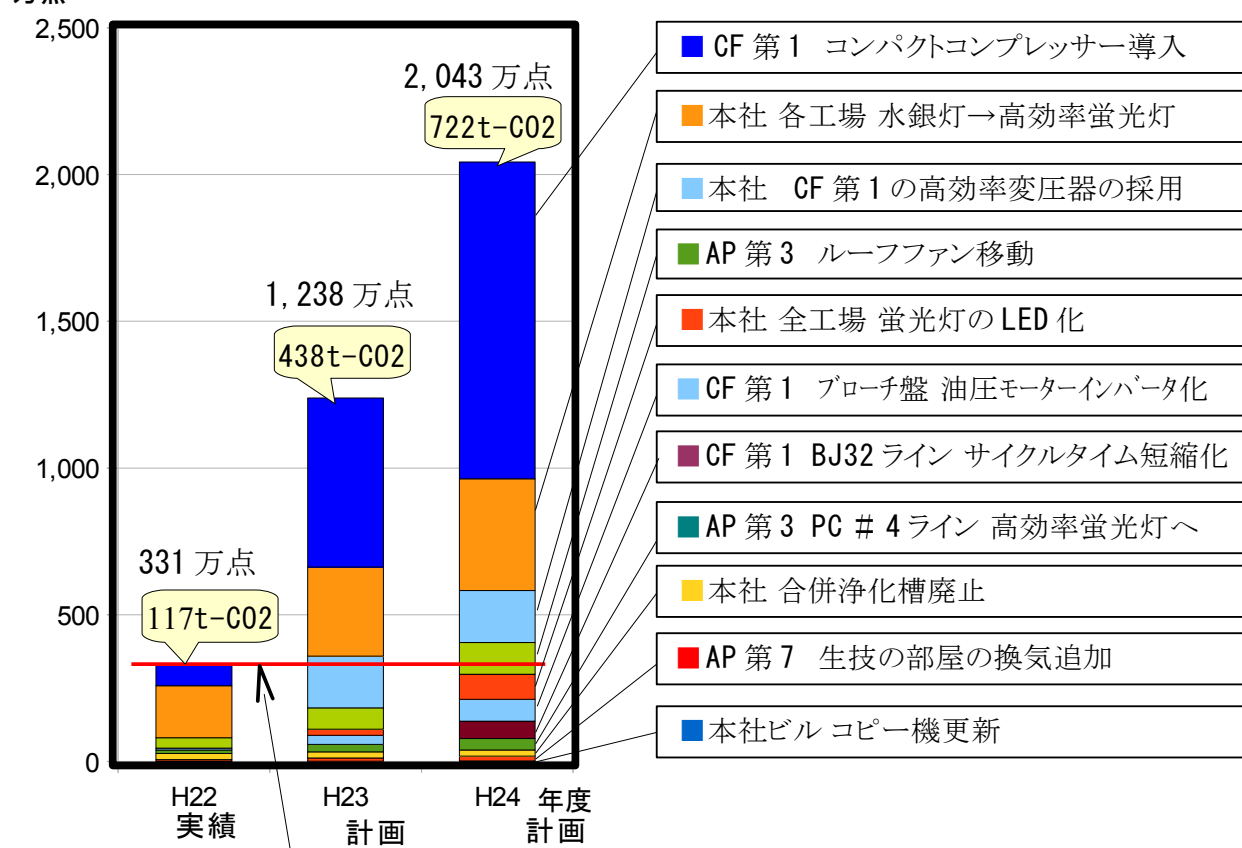


## 「温室効果ガス排出量削減活動」1年目の実施状況報告

県条例に従い毎年6月度に実施状況を愛知県へ報告していますが、今年はH22～H24年度3年間の初年度です。温室効果ガス排出量削減計画全体の約80%を占めている電力の活動についてお知らせします。

### 3ヶ年計画の削減累積値

電力費（温室効果ガス t-co2）



《 H22年度の削減実績 》  
計画に対し、99%の達成になりました。

### 総評

H22年度の削減計画に対する達成率は、約99%とほぼ計画通りでした。しかし、今後の削減計画は、毎年尻上りに高くなるというもので、これからの2年間の活動が大変重要なものになっています。また、この計画を達成することによって、これから2年間で約1,700万点（3ヶ年計画-1年目実績）の費用削減効果も期待できます。何としましても、やり遂げましょう！

### 活動経過 抜粋

#### 《CF 第1 コンパクトコンプレッサー導入と配管効率の見直し》

工場全体をカバーする従来の大型コンプレッサーでは、エアータンを使用していない場合も一定の圧力を維持する為に連続運転が必要です。

そこで、作業する夫々の場所にコンパクトコンプレッサーを配置する事により、各場所で必要な時のみの運転となり省エネになります。

1年目で第1工場東側を実施済みです。2～3年目で残りの西側を計画しています。

3ヶ年計画では、37kWの中型コンプレッサー2台分の停止が見込まれています。

1年目の電力削減量：70,228kWh/年（約83万点）



#### 《本社 各工場 水銀灯から高効率蛍光灯へ変換》

1年目、第3工場の200W水銀灯170灯から180W高効率蛍光灯92灯に交換しました。

灯数は約半分に減りましたが、交換前より全体に明るくなり、50%の省エネになりました。

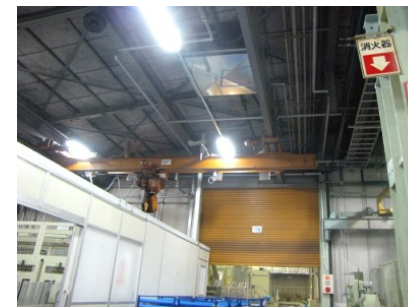
2年目では第5工場、3年目は第6.7工場を予定しています。

1年目の電力削減量：150,000kWh/年（約180万点）

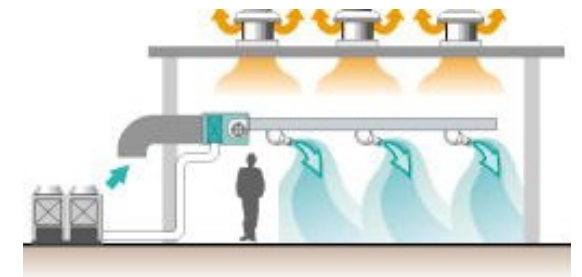
#### 《AP 第3 ルーフファンの場所移動》

建屋上部の熱い空気を外に排出すると、熱の対流効果で冷房効率が上がり、空調用電力使用量が下がります。そこで、熱い空気が排出しやすくなるように、壁寄りにあったルーフファンをメイン通路の中央に10mほど移動しました。

1年目の電力削減量：35,828kWh/年（約42万点）



ルーフファン



熱い空気を逃がし、冷房効率を上げるイメージ図